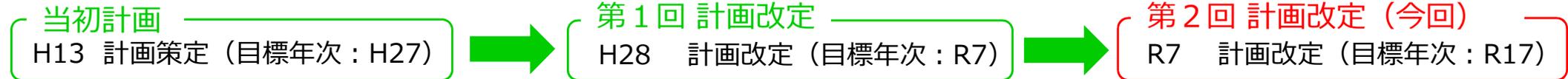


岡山市緑の基本計画の改定について (令和7年8月20日時点)

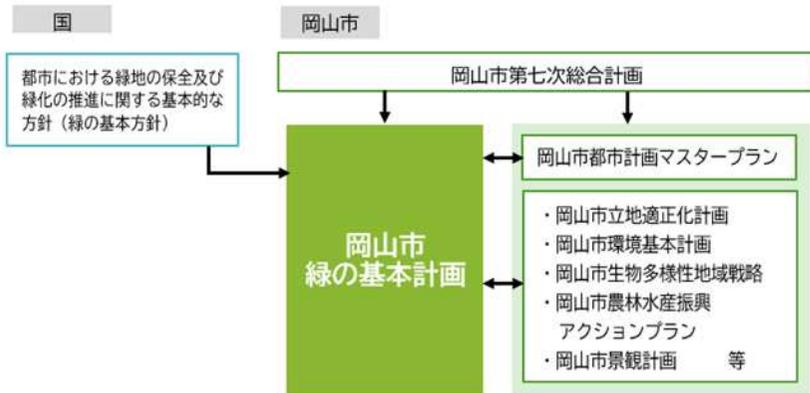
○ 緑の基本計画とは

都市緑地法に基づき、緑地の保全や緑化の推進に関して、その将来像、目標、施策などを定める、緑に関する総合的な計画。

○ 改定の経緯



○ 位置づけ



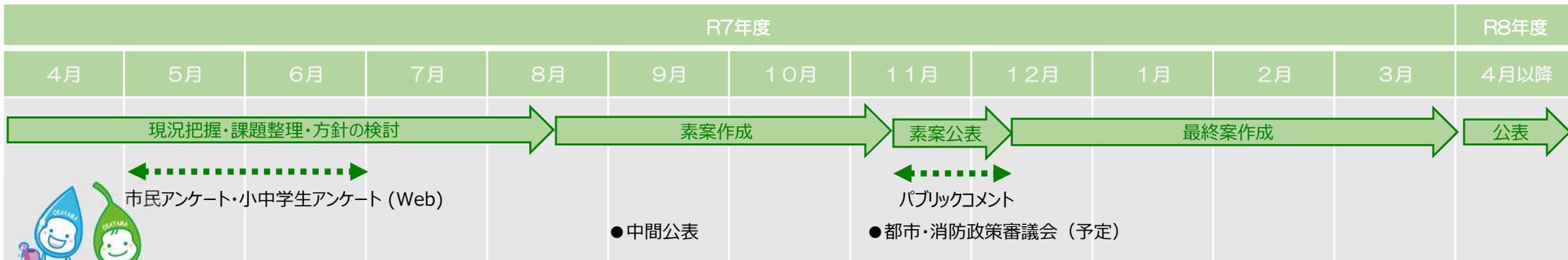
○ 緑の定義

本計画における緑は、都市公園、河川、道路、学校などの公共空間の緑、民有施設の緑、林地、家庭の庭など、公共空間からプライベートの領域に至るまで広範なものを対象。

○ 緑の代表的な役割

- ・気候変動対策
- ・生物多様性の確保
- ・Well-beingの向上
- ・都市のレジリエンスの向上 等

○ 改定スケジュール



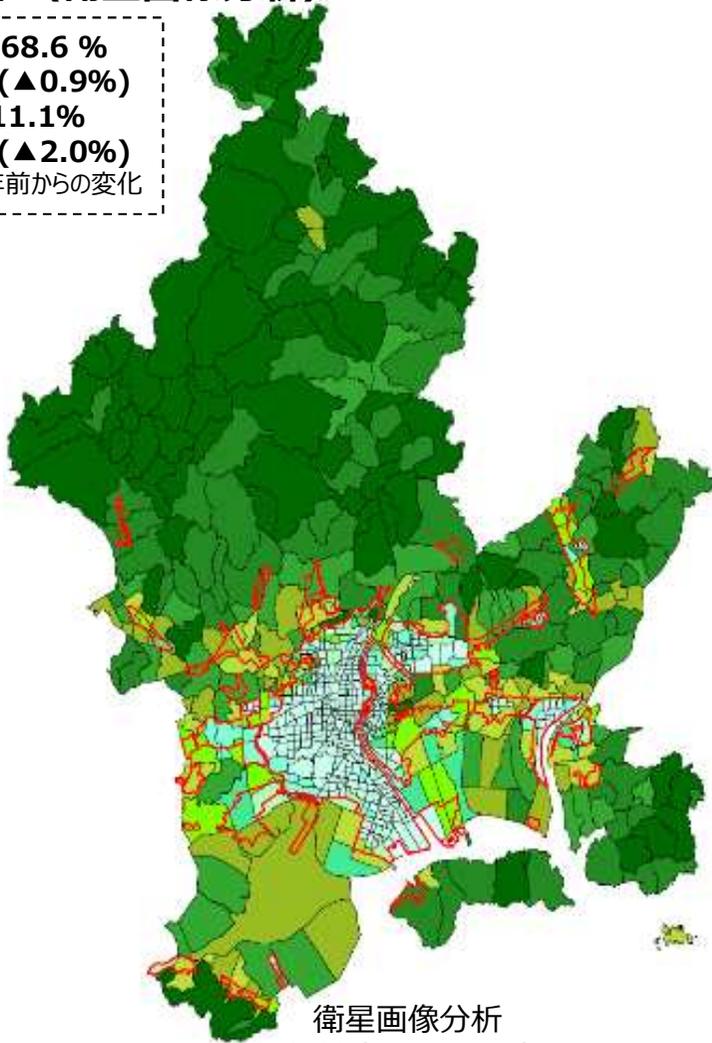
岡山市の緑の変遷・現状 (令和7年8月20日時点)

- 緑の量（緑被率等）は特に市街地で減少し、かなり低い水準。緑の質（樹木管理等）も管理不全なものが多い。
- 前回改定時に定めた目標も公園面積を除き未達成となる見込みであり、抜本的な見直しと具体的対応が必要。

○岡山市の緑被率（衛星画像分析）

R6 都市計画区域 68.6 %
(▲0.9%)
市街化区域 11.1%
(▲2.0%)
※カッコ内は5年前からの変化

市街化区域



衛星画像分析
緑被率 町丁目別

○政令指定都市の緑被率(市街化区域)の比較



※公開されている政令指定都市の市街化区域の緑被率データより岡山市作成。
※緑被の対象は農地・樹林地・草地等の緑。内訳不明な都市（神戸市・福岡市）は水面、グラウンド等を含めた値。

○街路樹の管理の状況 ○前回計画策定時の目標値



電線・車道への干渉を防ぐため
不自然な剪定となった街路樹
(市道いずみ町青江線)



生育環境と合わない樹種（城下筋）

(1) 公園・緑地の整備や緑化推進施策に対する満足度の目標水準

	中間年時 (令和2年)	目標年次 (令和7年)
計画 (平成27年度)	45.0%	50.0%
実績	40.8%	43.8%
備考		R7年が未公表のためR5年調査

R5時点で
未達成

(2) 都市公園の整備目標水準

	(令和2年)	(令和7年)
計画 (平成27年度)	16.40m ² /人	16.48m ² /人
実績	16.57m ² /人	16.85m ² /人
備考		R7年が未公表のためR5年調査

達成済

(3) パークマネジメントプラン策定公園数

	(令和2年)	(令和7年)
計画 (平成27年度)	3公園	5公園
実績	0公園	0公園

未達成

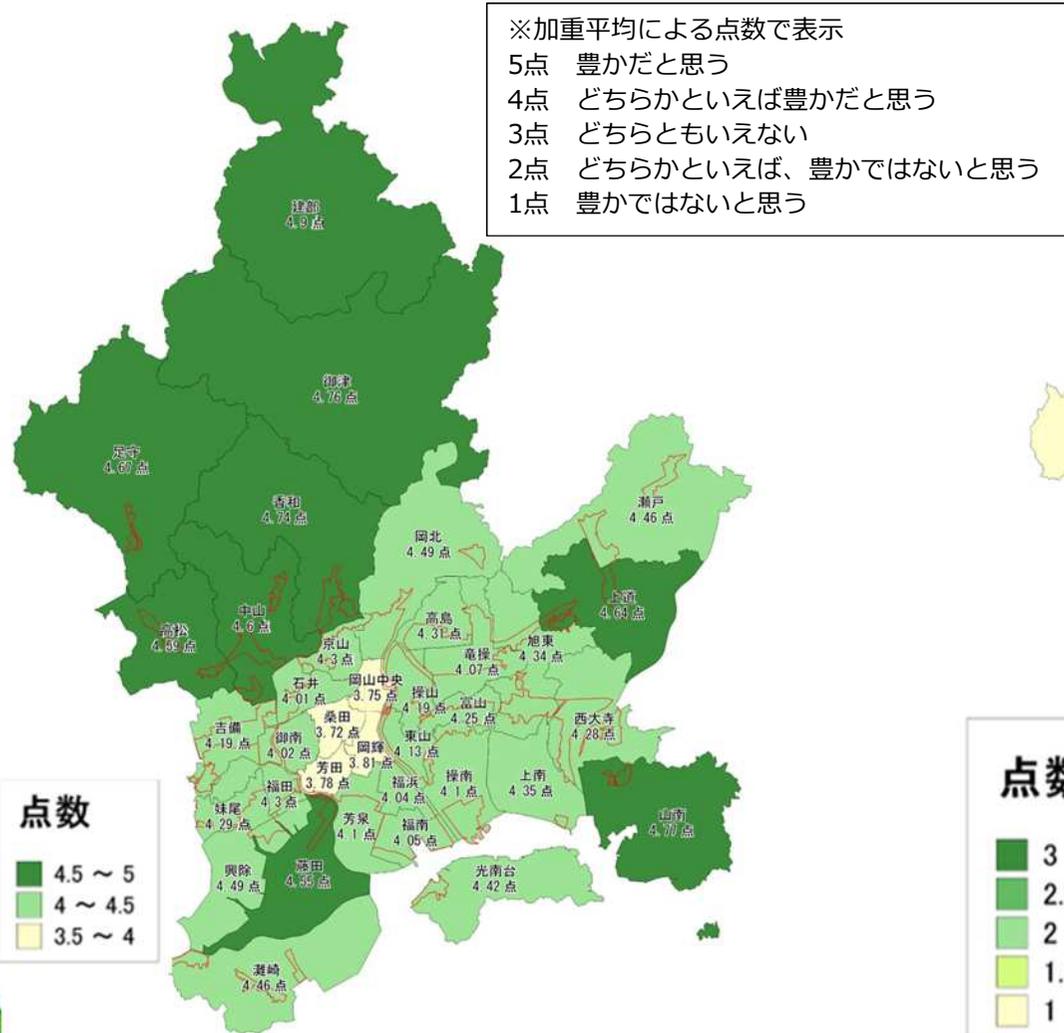
※西川緑道公園、北長瀬未来ふれあい総合公園等については、計画策定がないため含まず。



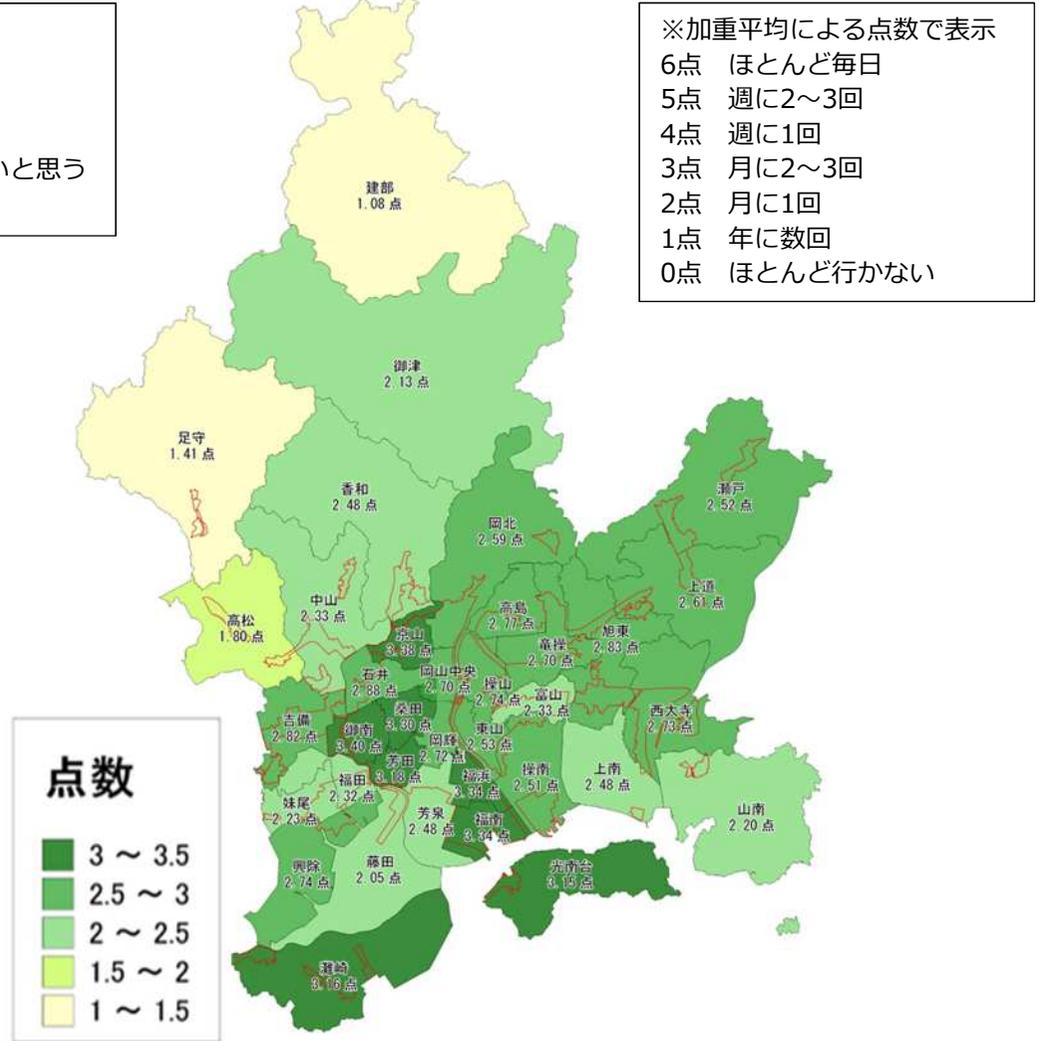
アンケート結果（岡山市内の小・中学生）（令和7年8月20日時点）

○今年度(令和7年度)に、小学校3年生・6年生、中学校2年生に、岡山市の緑についてアンケートを実施。
 ○市街地、特に中心部に向かうほど、緑の豊かさに対する評価は低い。一方で公園利用頻度は比較的高い。

○緑の豊かさ（中学校区単位集計） N=11,116



○公園に行く頻度（中学校区単位集計） N=11,116

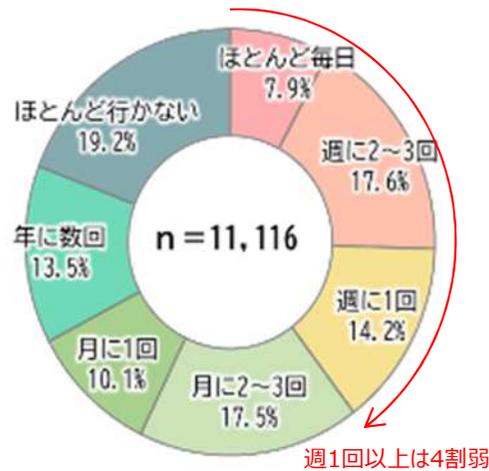


アンケート結果（岡山市内の小・中学生、市民）（令和7年8月20日時点）

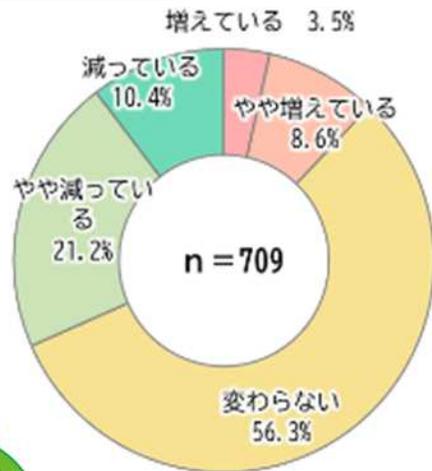
○小・中学生の公園に行く頻度は、週1回以上が4割弱。
○公園に求めるものとして「遊具」が50%以上。緑に求めるものとして「暑さ対策」「景観」が50%以上。

○公園に行く頻度

・小中学生アンケート

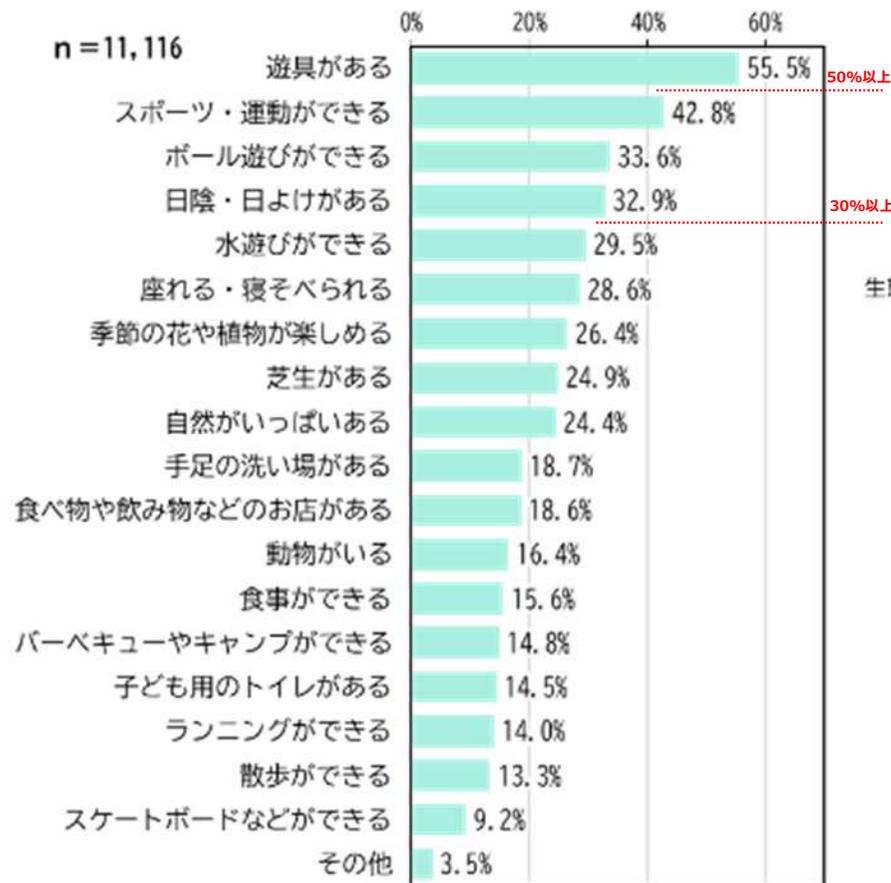


・市民アンケート



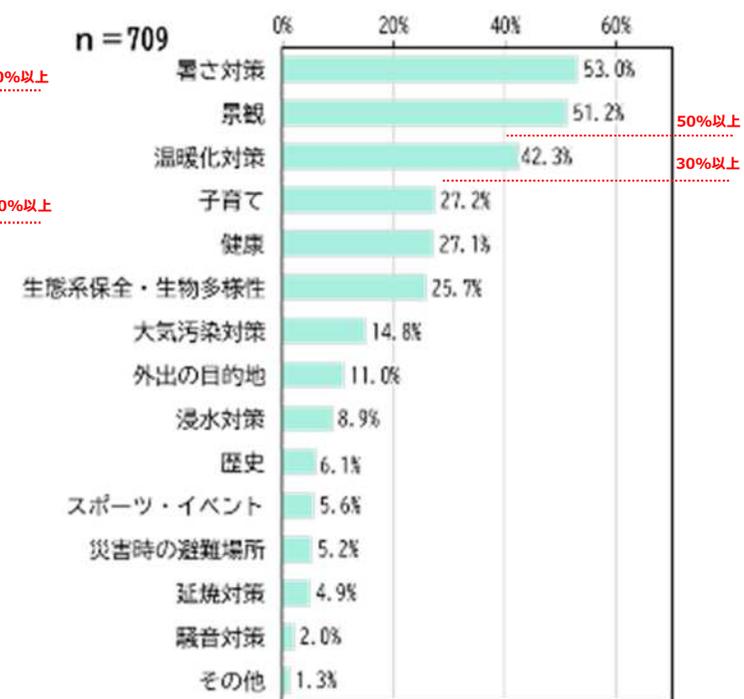
○公園でできると良いこと、公園にあると良いもの

・小中学生アンケート



○どの項目に関連する緑を守り、増やすか

・市民アンケート



○ 現況やアンケートから得られた課題等を元に、対応する施策について今後検討を深化していく。

①暑熱対策、景観

- ・ 市民が求める緑は「暑さ対策」「景観」が5割超、「温暖化対策」が4割超と、多面的な緑の機能が求められており、質向上を感じられる街路樹再生の抜本的強化や沿道も含めた緑化の誘導・景観形成を推進していくことが必要。

②緑の不足

- ・ 市街地では緑（緑被率等）が宅地化により減少。国目標値や他都市との比較でも大きく劣り、身近な緑の豊かさに対する評価も市街地で低いことから、宅地化による緑の減少抑制や、大規模開発等におけるまとまった緑の確保が必要。

③公園での遊び

- ・ 遊具等に対するニーズに応えるため、長寿命化事業等により引き続き更新を進めることが必要。
- ・ 児童遊園地のニーズ変化も踏まえた、持続可能な形での再整備等が必要。



下石井公園遊具 (R5.9更新)



国道250号街路樹倒木 (R7.6.11)

④管理の改善

- ・ 老朽化の進行により、倒木や要更新施設の増大が見込まれることから、持続可能な管理体制の構築に向けて、デジタル技術の活用等による管理の効率化により事後的対応から予防保全へと転換することが必要。

